

13 章 排水材設置工

13.1 排水材設置工（構造物背面排水材）

13.2 排水材設置工（水平排水層）

13章 排水材設置工

13.1 排水材設置工(構造物背面排水材)

1. 適用

構造物（橋台、擁壁、ボックスカルバート等）埋戻し背面のコンクリート面に帯状の排水材（全透水型（立体網状体及びメッシュチューブ型等））を設置する作業に適用する。

2. 数量算出項目

排水材設置工の延長を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、数量算出項目及び区分一覧表によるものとする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項 目 \ 区 分	3次元 モデル	属 性 情 報			
		幅 厚さ	単位	数量	備考
構造物背面排水材設置	B	○	m		

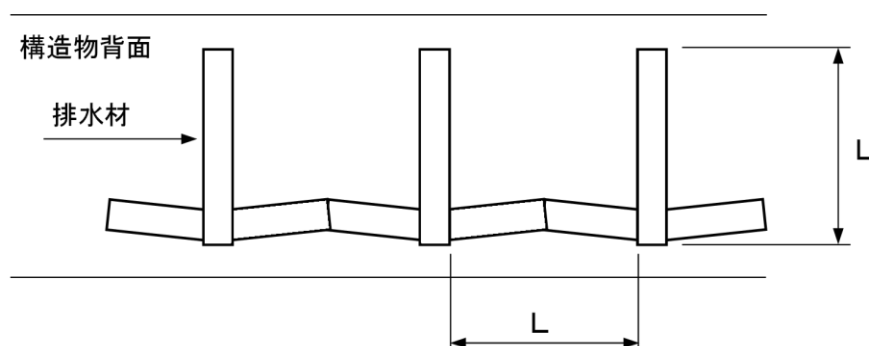
3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

- 注) 1. 排水材の設置方法は、コンクリート釘、接着剤、固定金具等を用いて固定する方法を標準とする。
2. 固定金具を用いて固定する金具材料の材料費は、必要に応じて別途計上する。
3. 水抜きパイプ等に接続する継手材料の材料費及び施工費は、必要に応じて別途計上する。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。

(1) 施工延長（L）のとり方は、下図のとおりとする。



13. 2 排水材設置工(水平排水層)

1. 適用

盛土（路体盛土等）内の浸透水の排除を目的に設置する帯状の排水材（帯状シート・全透水型（立体網状体等））の設置及びフィルター材（砕石等）を敷設する作業に適用する。
なお、帯状の排水材の設置は水平排水材、フィルター材（砕石等）の敷設はフィルター層とする。

2. 数量算出項目

水平排水材設置工の延長、フィルター層敷設工の体積を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、数量算出項目及び区分一覧表によるものとする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項 目 \ 区 分	3次元 モデル	属 性 情 報			
		幅 厚さ	単位	数量	備考
水平排水材設置	B	○	m		
フィルター層敷設	B	○	m ³		

3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

注) 水平排水材の設置は、固定方法に関わらず使用できる。

(2) フィルター層の区分

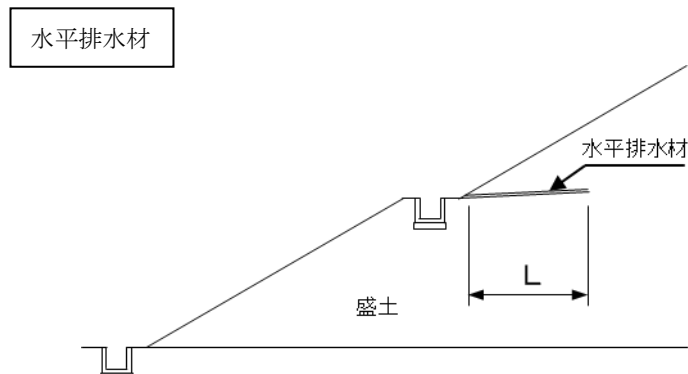
フィルター材の種類、厚さごとに区分し算出する。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。

(1) 施工延長（L）のとり方は、下図のとおりとする。

なお、施工延長（L）は、斜距離とする。



フィルター層

